

12月6日、古代衣装を着用し、本会議を開催



日本書紀に、「持統八年十二月の庚戌の朔乙卯(694年12月6日)に藤原宮に遷都された。」との記述があります。

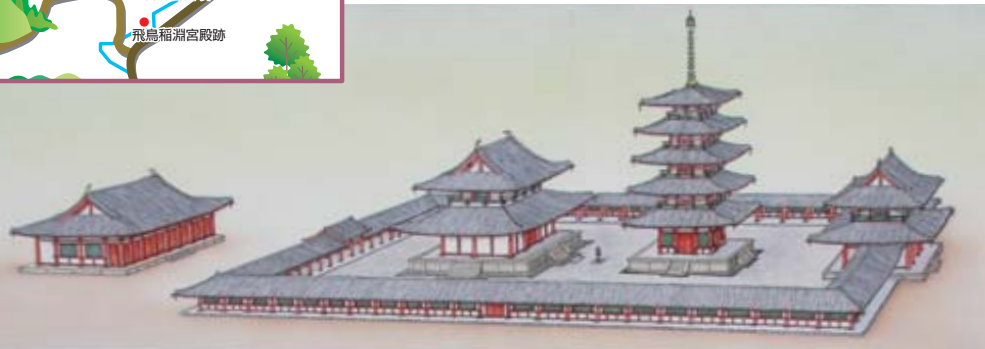
藤原宮に遷都された日と同じ12月6日に、議場内にいる全員(傍聴者は除く)が古代衣装を着用し、本会議を開催しました。

※本市議会のHPで当日の録画
中継が見れますので、ぜひアクセスしてください。

表紙紹介

《山田寺跡》(桜井市)

舒明天皇13年(641年)、蘇我倉山石川麻呂の発願により建てられた寺院である。金堂、廻廊の建立後、石川麻呂の失脚により造営は一時中断するが、天武2年(673年)頃に再開され、塔や金堂が完成した。昭和57年には、倒壊した廻廊がそのままの姿で発掘され、当時の建築様式を知る上で重要な資料となっている。



(イメージ)